

講義名	対)基礎技能B(自然科学・人文科学)			
担当教員	上田 真由美			
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要
<p>【目的】 基礎技能Bは、公務員を目指す学生を対象とする「公務員プログラム」に位置づけられる公務員試験対策科目である。 2年生対象の基礎技能B(自然科学・人文科学)は、公務員試験における教養科目の一般知識分野である自然科学と人文科学を基礎から無駄なく実践レベルまでレベルアップすることを目的とする。授業内では初回と比較して最終回での理解度ならびに平均点を20%アップすることを目標とする。なお、公務員試験合格には、当該授業を履修するだけでなく、自学自習が前提であることを言うまでもない。</p> <p>【内容】 自然科学における物理、化学、生物、地学や人文科学における日本史、世界史、地理、文芸・思想に関する頻出問題を解説をすることで、近年の公務員試験の傾向を把握する。また、公務員試験受験に向けて、自習の方法や試験制度、勉強なども学ぶ、小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。</p> <p>【意義】 講義との対話を通じて進められる本授業の意義は、受講生が、本学がディプロマポリシーで掲げる「論理的思考力」「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」を着実に身につけることができることにある。また、公務員という明確の目標に向って、コツコツと宿題をこなしていくことによって、「ネアカのひのひへこたれず」の精神を養うことができることに大きな意義がある。</p>

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験で出題される自然科学と人文科学の基礎知識を「正確」に理解できるようになる。 毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。 <p>なお、以上の目標に到達するため、本授業は講師と受講生のコミュニケーションを重視する。そのため、教室における対面授業で実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には通学できない期間中の講義をオンライン上で配信する。</p>
提出課題
<ul style="list-style-type: none"> 毎授業時に宿題(練習問題)を出す。 公務員試験勉強には日ごとの自習が求められる。宿題を通じて、自分のペースに合わせた学習習慣を身につけてもらいたい。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック
宿題提出後、授業中に講評・解説を行う。

評価の基準
小テスト(5問×5問=25問)[50%]と受講態度(宿題の提出[15回]等)[50%]の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他
<p>試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。 受講態度が悪い場合には、減点する。 また、最初の授業時に学習する科目の小テストを行い、どれぐらいの問題が解けるかや苦手範囲を確認する。さらに、志望する職種・自治体について事前に調べること。</p> <p>【基礎技能Bへの編入について】 基礎技能Bに途中から参加するには、2年前期からのみ編入可能です。 1年後期(10-11月)にガイダンスを実施するので、編入希望者は必ず参加して下さい。</p>

教科書				
.大卒程度 警察官・消防官 新スーパー過去問ゼミ 自然科学 [改訂第2版] .	資格試験研究会 編	実務教育出版	1,430円	9784788935358
.大卒程度 警察官・消防官 新スーパー過去問ゼミ 人文科学 [改訂第2版] .	資格試験研究会 編	実務教育出版	1,430円	9784788935341

プリント資料及び参考文献
必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理1：公務員ガイダンス・力のつりあい・物体の運動 2. 物理2：音・原子物理その他 3. 化学：主要項目ビッグアップ 4. 生物1：生態系の反応・動植物 5. 生物2：遺伝・進化問題 6. 地学1：地球の気象と環境 7. 地学2：気候の変化・太陽系と宇宙 8. 日本史：古代と中世について概論 9. 日本史：近世と近代・現代について概論 10. 世界史：西洋古代・中世・近代について概論 11. 世界史：西洋現代・東洋について概論 12. 地理1：地形・気候・農業・漁業・鉱業について概論 13. 地理2：各国地誌・人口・民族・環境問題について概論 14. 文学：思想・西洋思想・東洋思想、文学について概論 15. 英語：主要項目ビッグアップ

授業形態(アクティブ・ラーニング)	
ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>予習：それぞれの回の実施内容(全体把握)を予習すること(2時間程度)。 復習：講義内で実施した範囲の問題演習を繰り返し、3回以上は解くこと(2時間程度)。 公務員採用試験対策においては、問題演習を繰り返し解くことが重要です。 自学自習をすることで、授業で学んだ知識を定着させましょう。</p>

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<p>本授業の目標は、本学のディプロマポリシー(5項目)と以下の点に関連する。 ・公務員試験で出題される自然科学と人文科学の基礎知識を「正確」に理解できるようになる。 ・知識を正確に転換することができる。論理的思考力を持った人材」の育成 ・毎週の宿題と講師のアドバイスを通じて、自学自習の習慣を身につけることができるようになる。 「自主・自立の精神を持った人材」の育成</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
理解度確認表・レスポンスを活用し、不明点や確認事項を学生と講師間で共有する。

実務経験の有無及び活用
備考